

枚方公済病院 認定看護師通信

9・10月号(2か月毎発行)VOL.50

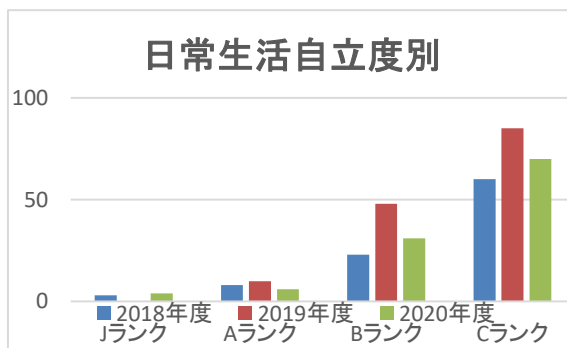
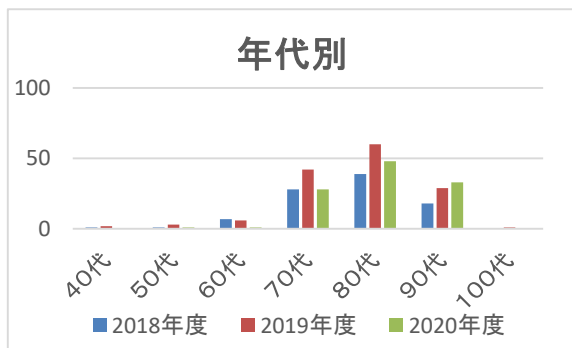


活動報告

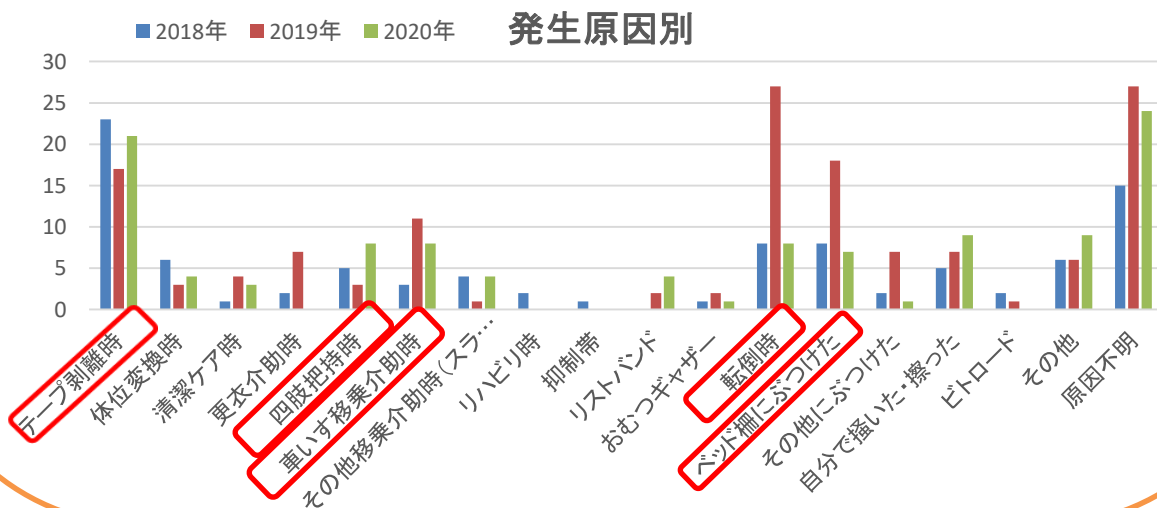


今回は、スキン-テア発生について報告します。

スキン-テアは「摩擦とずれによって、皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷」です。当院では2016年にこの創傷について勉強会を行い、同年から調査を始めました。発生報告書を提出してもらう目的は、原因を追究して予防対策を講じることにあります。スキン-テアは、介護を受ける脆弱な高齢者に発生しやすい特徴があります。調査でも70代～90代に多く発生し、その殆どは日常自立度B～Cランクの患者さん達です。



発生原因ではテープ剥離時が最も多く、四肢の把持時や車椅子への移譲介助時、ケア時にベッド柵にぶつけるなど医療者によるものや転倒によるものが多い傾向にあります。愛護的にケアを行うことは大前提ですが、車いすのフットレストカバー・ベッド柵カバーなどハード面の整備も必要不可欠な課題です。今後も皆さんと共に予防対策に取り組みたいです。



認定看護師の豆知識



急性・慢性心不全診療ガイドライン

以前にも認定通信でお話ししましたが、心不全治療の指針の一つに日本循環器学会と日本心不全学会の2学会の合同監修による急性・慢性心不全診療ガイドラインがあります。ガイドラインはだいたい、5年に1度くらいの改定があるのですが、2018年発表後もすぐにあらたな治療に関する数多くのエビデンスが報告されたこともあり、あらたな知見をまとめフォーカスアップデート版として発表がありました。

日本循環器学会 / 日本心不全学会合同ガイドライン

2021年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版 急性・慢性心不全診療

JCS/JHFS 2021 Guideline Focused Update on Diagnosis and Treatment of Acute and Chronic Heart Failure

今回、心不全患者への指導の観点で述べられている「疾患管理プログラム」の内容も改訂されていたのですが、特に気になったのが**感染予防とワクチン接種**の項目です。昨年発症したCOVID-19についてもすでに明記されていました。以下は改定で追加されていた抜粋です。

感染症、とくに呼吸器系感染症は心不全増悪のリスクであること、日々の手洗いの励行や体温管理が感染予防に有効であり、状況に応じて電話診察を活用することを教育する。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は心不全の重症化や合併症増悪のリスクとなるため、特に感染予防に努める必要がある。

様々な変化に目を向けて、新しい知識を持ち患者さんにも提供していくことが大切です。

慢性心不全看護認定看護師 原谷こずえ



各分野電話番号

病棟ごとの勉強会 依頼受付中！

認定看護師会では今年度より病棟ごとの勉強会、研修を依頼を受け行うことになりました。

既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です！

リクエストお待ちしております！



救急看護:村上 8863
慢性心不全看護:原谷 8394
感染管理:矢田 8623
皮膚排泄ケア:大西 8397
認知症看護:藤原 8667
がん化学療法:多賀 8845
摂食・嚥下:日向 8113